

ルーマニア月報



平成29年1月13日
在ルーマニア大使館作成

Embassy of Japan in Romania
<http://www.ro.emb-japan.go.jp>

2016年12月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、日本大使館がとりまとめたものです。

(AG:アジェルプレス通信、ZF:ズィアルル・フィナンチアル紙、NO:ナインオクロック紙)

主要ニュース

【内政】●11日、議会総選挙が行われ、PSDが事前の予想を大きく上回る大勝を飾った。その後、PSDはALDEと与党連合「発展と民主主義」を結成し、議会多数派を形成した。

●30日、議会総選挙の結果を受け、ヨハニス大統領は、与党連合「発展と民主主義」から推薦のあったグリーンデアヌ・ティミシュ県議会議長を次期首相候補に指名した。

【経済】●6日、2016年第3四半期のGDP成長率（推定値）は対前年同期比4.4%（季節調整前）及び4.6%（季節調整後）。2016年1～9月のGDP成長率は4.9%（季節調整前）、4.8%（季節調整後）。

●27日、11月末のルーマニアの財政収支は約55億560万レイ（約12億2,300万ユーロ）、対GDP比で0.73%の赤字であったと発表。

●31日、11月末の2007年から2013年欧州基金執行率を88.13%と発表。

【我が国との関係】●地下鉄「M6」プロジェクト（対ルーマニア円借款「ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設計画」）に関する政府決定（GD）が閣議において承認された。

内政

■議会総選挙結果

・11日、4年に一度のルーマニア議会総選挙（下院330議席、上院136議席）が行われた（投票率：39.49%）。選挙の結果、議会最大政党であったPSD（社会民主党。中道左派）が、議会単独過半数に迫る議席を獲得して大勝した。15日に中央選挙管理委員会が発表した最終結果は次のとおり。

ALDE	上院	9 (6.24%)
	下院	20 (5.62%)
PMP	上院	9 (6.00%)
	下院	18 (5.34%)
少数民族グループ (注)	上院	8 (5.65%)
	下院	17 (-. --%)
	上院	-- (-. --%)

【各党の獲得議席数】 (括弧内は得票率)

PSD	下院	154 (45.47%)
	上院	67 (45.67%)
PNL	下院	69 (20.04%)
	上院	30 (20.41%)
USR	下院	30 (8.87%)
	上院	13 (8.92%)
UDMR	下院	21 (6.18%)

【政党略称】

PSD：社会民主党，PNL：国民自由党，USR：ルーマニア救出同盟，ALDE：自由民主主義同盟，UDMR：ハンガリー人民民主同盟，PMP：国民の運動党

注：選挙結果の如何に関わらず下院に1議席が配分されることになっている18の少数民族政党のうち、タ

タール人政党が選挙直前に登録を抹消されたため少数民族グループの議席は17議席となり、その結果、下院定数も330議席から329議席に1議席削減された。

■PNL党首の交代

・12日、議会総選挙における大敗の責任を取る形で、ゴルギウPNL（中道右派）党首が辞任の意向を表明し、翌13日、トゥルカン下院議員が党首代行に就任した。正式な同党党首は、2017年3月開催予定とされる同党党大会において選出される。

■議会多数派形成に向けた動き

・19日、PSDはALDE（中道右派）との間で、共通の政権プログラムと共通の次期首相候補を持つことなどを内容とする協力議定書を締結し、与党連合「発展と民主主義」を結成した。

・21日、与党連合「発展と民主主義」は、UDMR（ハンガリー人民族政党）との閣外協力に関する協力合意に署名した。下院に17議席を有する少数民族グループもPSDを中心とする与党連立に協力すると見られており、この結果、同与党連合は、下院212議席、上院85議席を確保し、安定した多数派を形成することとなった。

■上院議長及び下院議長の選出

・21日、前20日招集された新議会は、上下両院議長の選出を行い、タリチャーヌ上院議長（ALDE党首）及びドラグネア下院議長（PSD党首）がそれぞれ選出された。

■次期首相候補指名に向けた動き

【大統領と各政党との協議】

・14日、ヨハニス大統領は、次期首相指名に関する議会各政党との協議を開始した（ルーマニア憲法第103条第一項は、次期首相候補指名に先立ち、大統領は、「議会に過半数を有している政党、もしくはそのような政党が存在しない場合には議会に議席を有する諸政党との協議」を行うこととしている）。これに対

し、ドラグネアPSD党首は、同党が大統領との次期首相候補に関する協議に応じるのは、新議会が招集された後のみであるとして、ヨハニス大統領の提案を拒否した（その後、PSDとの連立の意向を表明しているタリチャーヌALDE党首もヨハニス大統領との協議を拒否する考えを示した）。

・21日、大統領府において、次期首相候補に関するヨハニス大統領と議会各政党との二回目の協議が開始され、PSDとALDEが与党連合「発展と民主主義」として合同で同協議に臨んだ。

【PSDによる次期首相候補推薦とヨハニス大統領による同候補指名拒否】

・21日、次期首相候補指名に関するヨハニス大統領との協議に臨んだドラグネアPSD党首は、同協議後に記者会見を開き、同党からの次期首相候補としてセヴィル・シャイデ地域開発・公共行政省参与をヨハニス大統領に推薦したことを明らかにした。

・22日、次期首相指名に関する議会各政党との協議を終えたヨハニス大統領は、記者会見を行い、次期首相指名をクリスマス休暇後に行う意向を明らかにした。

・27日、ヨハニス大統領は記者会見を開き、種々検討の結果、PSDから推薦のあったシャイデ地域開発・公共行政省参与の次期首相候補指名を見送ることを決定した旨述べるとともに、議会多数派を形成するPSD+ALDEに対し、別の人物を推薦するよう要請した。

同日、ヨハニス大統領によるシャイデ参与の次期首相指名拒否を受けて、ドラグネアPSD党首は、タリチャーヌALDE党首とともに記者会見を開き、ヨハニス大統領の決定には何ら憲法上の合理的な理由はなく、選挙結果に示されたルーマニア国民の意思を無視するものであり、大統領は政治危機を招こうとしていると同大統領によるシャイデ参与の次期首相指名拒否を激しく非難した上で、議会による大統領停職決議案提出の可能性に言及しつつ、明28日には何らかの決定を下す考えを示した。

【PSDによる新たな首相候補推薦とヨハニス大統領

領による次期首相候補指名】

・28日、党全国執行委員会（党大会、全国評議会に次ぐPSD第三の意志決定機関）での議論を終えたドラグネアPSD党首は、タリチャーヌALDE党首とともに記者会見を開き、シャイデ地域開発・公共行政省参与とその家族に対する脅迫を止めさせ、ヨハニス大統領によりもたらされた政治危機を早期に收拾するため、グリーンデアヌ・ティミシュ県議会議長（元情報社会相）を同党の新たな首相候補として推薦することを決定した旨発表した。

・29日、PSDからの新たな首相候補推薦を受けて、ヨハニス大統領は、グリーンデアヌ県議会議長を大統領府に招き会談した。

・30日、ヨハニス大統領は、PSDから推薦のあったグリーンデアヌ・ティミシュ県議会議長を次期首相候補に指名する大統領布告に署名した。

同日、ヨハニス大統領による上記首相候補指名を受けて、ドラグネアPSD党首は、タリチャーヌALDE党首及びグリーンデアヌ次期首相候補とともに記者会見を開き、新内閣の発足見通しについて、2017年1月3日に閣僚名簿の発表、同4日に議会におけるグリーンデアヌ内閣信任投票を行う予定である旨述べた上で、大統領府における新内閣宣誓式は同4日夕刻には可能であろうとの見通しを述べた。また、ドラグネア党首は、記者からの質問に答え、2017年度予算案はすでに完成している旨述べた。

外政

■主な要人往来

・2日、コマネスク外相は、ヴァレッタ（マルタ）を訪問し、ヴェッラ外相と会談したほか、プレカ大統領を表敬した。

・6-7日、コマネスク外相は、ブリュッセルで開催されたNATO外相会合に出席した。

・8-9日、コマネスク外相は、ハンブルクで開催されたOSCE閣僚級会合に出席した。

・12日、コマネスク外相は、ブリュッセルで開催されたEU外務理事会に出席した。

・13日、コマネスク外相は、第35回BSEC（黒

海経済協力機構）外相会合に出席した。

・15日、ヨハニス大統領は、ブリュッセルで開催された欧州理事会に出席した。

■ドラグネアPSD党首のルーマニア外交に関する発言

・2日、民放TVに出演したドラグネアPSD党首は、ルーマニア外交について答え、米国との戦略的パートナーシップはルーマニア外交の基軸であり続ける旨述べた。また、中国との関係については、特にエネルギー、インフラ分野において中国からの投資の潜在性を活用すべきである旨述べた。EUとの関係については、「欧州における原動力」となるため、経済を重視すべきとの考えを明らかにした。ロシアとの関係については、現状を維持すべきと述べた。

・12日、議会総選挙の結果を受けた記者会見において、ドラグネアPSD党首は、ルーマニアは国際的な合意と戦略的パートナーシップを維持する旨述べた上で、外湖面でも経済を重視していく考えを明らかにした。また同党首は、ルーマニアは、地域における「安定勢力」であり続ける旨述べた。

■ハンガリー関係

・8日、オルバーン・ハンガリー首相は、ルーマニア北西部のサトゥ・マーレ市を訪問し、ケレメンUDMR党首と会談した。12月1日のルーマニア統一記念日を祝う式典にハンガリー外交官が出席することを禁じたハンガリー政府の指示に関する記者からの質問に対し、オルバーン首相は、ハンガリー人にとって12月1日を祝う理由は一切なく、偽善的であるよりは誠実であることがより大切である旨答えた。これに対し、チョロシュ首相は、オルバーン首相の発言は品がなく不適切であるとの声明を発表し、これに不快感を示した。

■米国関係

・13日、ドブロヴォルスキ大統領府報道官は、ヨハニス大統領が、ペンス次期米副大統領と電話会談した旨発表した。同電話会談は、ペンス次期副大統領のイ

ニシヤティブによるもので、同次期副大統領は、ルーマニアとの戦略的パートナーシップの更なる発展に期待を示したとされる。

経済

■マクロ経済

(特に記載のない限り、対前年比又は前年同期比、季節調整後、出典は国家統計局INS)

【10月分統計】

(1) 鉱工業

	9月	10月
工業生産高	3.3%	0.8%
工業売上高(名目)	4.2%	2.5%
工業製品物価指数	▲1.5%	▲0.5%
新規工業受注高(名目)	15.1%	4.9%

工業生産高及び新規工業受注高(名目)が減速。工業売上高(名目)が若干減速。

(2) 販売

	9月	10月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	9.7%	10.0%
自動車・バイク売上高	22.5%	21.4%
小売業売上高 (ユーロスタット)	ユーロ圏 1.1%	ユーロ圏 2.4%
	EU28か国 2.2%	EU28か国 3.5%

なお、10月の小売業売上高(ユーロスタット)対前年同月比では、ルクセンブルク(+16.0%)が最も増加し、次いでルーマニア及びスロベニア(同+8.7%)。

(3) その他

建設工事	9月	10月
	2.0%	▲0.2%

建設工事が若干減速。

(4) 輸出入

	9月	10月
輸出	€52億4,090万 (6.7%)	€50億9,100万 (2.0%)
	RON233億3,720万 (7.3%)	RON228億2,570万 (3.4%)
輸入	€60億2,190万 (6.4%)	€60億6,200万 (3.3%)
	RON268億1,460万 (7.1%)	RON271億8,710万 (4.8%)

【1月～10月分統計】

(1) 鉱工業

	9月	10月
工業生産高	1.4%	0.3%
工業売上高(名目)	3.9%	3.8%
新規工業受注高(名目)	7.9%	7.6%

(2) 販売

	9月	10月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	15.5%	14.7%
自動車・バイク売上高	17.6%	17.9%

(3) その他

建設工事	9月	10月
	3.4%	3.0%

(4) 輸出入

	9月	10月
輸出	€426億7,780万 (4.3%)	€477億6,870万 (4.1%)
	RON1,914億5,490万 (5.3%)	RON2,142億8,000万 (5.1%)
輸入	€496億1,120万 (6.8%)	€556億6,850万 (6.4%)
	RON2,225億2,560万 (7.8%)	RON2,496億9,190万 (7.5%)

貿易	▲€69億3,340万 (▲€13億9,280万)	▲€78億9,980万 (▲€14億8,550万)
収支	▲RON310億7,070万 (▲RON64億9,590万)	▲RON354億1,190万 (▲RON69億7,330万)

【11月分統計】

・消費者物価指数

	10月	11月
全体	▲0.43%	▲0.67%
食料品価格	0.49%	0.66%
非食料品価格	▲0.8%	▲1.27%
サービス価格	▲1.11%	▲1.51%
消費者物価指数 (ユーロスタット)	ユーロ圏 0.5% EU28か国 0.5%	ユーロ圏 0.6% EU28か国 0.6%

なお、11月の消費者物価指数(ユーロスタット)対前年同月比では、ブルガリア及びキプロス(同▲0.8%)が最も低く、次いでルーマニア、ギリシャを含む他の3カ国(▲0.2%)。

【その他統計】

・6日、INSはルーマニアの2016年第三四半期のGDP成長率(推定値)を対前年同期比4.4%(季節調整前)、及び4.6%(季節調整後)、また対前期比では0.6%(季節調整前)としそれぞれ据え置いた。2016年1~9月のGDP成長率は4.9%(季節調整前)、4.8%(季節調整後)で据え置かれた。(INS)

・6日、2016年第三四半期のEUのGDP成長率は、対前期比でユーロ圏0.3%、EU28か国0.4%で、対前年同期比ではユーロ圏1.7%、EU28か国1.9%であった。クロアチアは対前期比1.7%で、EU内で一番高い成長率を記録し、次いでスロベニア(1.0%)、ギリシャ(0.8%)、ポルトガル(0.8%)。対前年同期比でルーマニアは4.6%で、EU内で一番高い成長率を記録し、次いでブルガリア(3.4%)、スペイン及びスロバキア(3.

2%)。(ユーロスタット)

・20日、2015年のGDP成長率推定値3.8%から3.9%に上方修正した。(INS)

■産業界の動向

・1日、フランス自動車製造者委員会(CCFA)によると、11月におけるフランスでのダチア新規登録台数は8,032台になり、対前年同月比で+60.4%増加した。フランスの自動車市場全体は+8.5%増加した。1月~11月にかけては、ダチア新規登録台数は10万759台になり、対前年同期比で+15.8%増加した。フランスの自動車市場全体は+5.0%増加した。(CCFA)

・12日、ルーマニア運転免許証・自動車登録局(DRPCIV)によると、1月~11月にかけて、新車登録台数が8万5,588台に達し、対前年同期比で約18.18%増加した。(12日付AG)

・15日、欧州自動車工業会(ACEA)によると、11月におけるヨーロッパでのダチア自動車新規登録台数は3万978台となり、対前年同月比で+7.9%増加した。1~11月にかけては37万6,519台となり、対前年同期比で+9.8%増加した。(ACEA)

・16日、ルーマニア自動車生産者輸入業者協会(APIA)によると、1~11月の車両販売台数は12万8,106台で、対前年同期比で16.7%増加した。1月~11月のメーカー別自動車販売は1位がダチア(31,844台、市場シェア:30.6%)で、次いでVolkswagen(11,067台、市場シェア:10.6%)、Skoda(9,483台、市場シェア:9.1%)。(APIA)

■公共政策

・8日、地下鉄6号線(M6)プロジェクトに関する政府決定(GD)が閣議で承認された。プロジェクトの詳細は:長さ:14.2キロメートル, 駅数:12, 御客数50,000人, 平均スピード36Km/h, 総額:約59億レイ(約13億ユーロ)(ルーマニア政府のホームページ)

・欧州基金省は、11月末の2007年から2013年欧州基金執行率を89.13%と発表。1月末は63.47%、7月末の76.69%、8月末の80.23%、9月末の86.74%、10月末の88.59%から上昇。(欧州基金省)

■財政政策

・27日、公共財務省は、11月末のルーマニアの財政収支は約55億560万レイ(約12億2,300万ユーロ)、対GDP比で0.73%の赤字であったと発表。前年同月末の財政収支は約53億3,400万レイ(約11億8,500万ユーロ)、対GDP比で0.76%の黒字であった。(公共財務省)

■金融等

・1日、11月末の外貨準備高は343億8,700万ユーロ(10月末の343億4,700万ユーロから増加)、金準備高は103.7トンで不変。(BNR)

・14日、10月末の経常収支等について次のとおり発表。

(1) 経常収支は29億1,900万ユーロの赤字。なお、前年同期には10億5,500万ユーロの赤字であった。

(2) 外国直接投資(FDI)は、37億3,600万ユーロ。なお前年同期は27億8,400万ユーロ。

(3) 中長期対外債務は、2015年末から0.2%減少し、703億8,500万ユーロ(対外債務全体の76.3%)。

(4) 短期対外債務は、2015年末から9.8%増加して、218億2,800万ユーロ(対外債務全体の23.7%)。(BNR)

■労働・年金問題等

・5日、2016年第3四半期の人件費(労働日調整後)は対前期比で4.67%、また、対前年同期比で14.7%、それぞれ増加。(INS)

・9日、10月の平均給与(グロス)は、2,108レイ(約648ユーロ)で、対前月比で0.7%増加。平均給与(手取り)は2,108レイ(約468ユーロ)

で、対前月比で14レイ上昇。なお、平均給与(手取り)が最も高かった業種は、天然ガス・石油精製業(5,513レイ、約1,225ユーロ)で、反対に最も低かったのは宿泊・飲食業(1,281レイ、約284ユーロ)。(INS)

・9日、国家雇用庁(ANOFM)は、10月末の失業率を、9月末の失業率から0.01%ポイント低下し、また、2015年10月末の失業率から0.12%ポイント低下して、4.76%となったと発表。(ANOFM)

■格付(2017年1月13日付)

Fitch 外貨建長期(国債) BBB- (安定的)
自国通貨建長期 BBB (安定的)

S&P 外貨建長期 BBB- (安定的)
自国通貨建長期 BBB- (安定的)

JCR 外貨建長期 BBB (安定的)
自国通貨建長期 BBB+ (安定的)
(内はアウトルック)

■我が国との関係

・8日、日本のナショナルデー・レセプションが開催され、450名を超える招待客が集まった。ルーマニア側からは、コンスタンティネスク元大統領、ヨルダケ下院議長、グリゴレスク・エネルギー相、ブシェ運輸相といった要人も参加した。また、この機会に、同8日、地下鉄「M6」プロジェクト(対ルーマニア円借款「ブカレスト国際空港アクセス鉄道建設計画」)が閣議決定されたことが、ブシェ運輸相から発表された。